システムプログラミング 2 期末レポート

氏名: 重近 大智 (SHIGECHIKA, Daichi) 学生番号: 09501527

> 出題日: 2020 年 12 月 07 日 提出日: 2021 年 1 月 12 日 締切日: 2020 年 1 月 25 日

1 概要

本レポートでは、MIPS 言語と C 言語を用いて、提示された 5 つの課題に取り組み、その解答を報告する.実行結果は xspim 及び gcc により生成された 32bit バイナリによる結果である.

本レポートで報告するシステムプログラミング2の課題は次の5つである.

- 1. SPIM が提供するシステムコールを C 言語から実行できるようにしたい。A.6 節「手続き呼出し規約」に従って,各種手続きをアセンブラで記述せよ。ファイル名は,syscalls.s とすること。[1] また,記述した syscalls.s の関数を C 言語から呼び出すことで,ハノイの塔 (hanoi.c とする) を完成させよ。
- 2. hanoi.s を例に spim-gcc の引数保存に関するスタックの利用方法について, 説明せよ. そのことは, 規約上許されるスタックフレームの最小値 24 とどう関係しているか. このスタックフレームの最小値規約を守らないとどのような問題が生じるかについて解説せよ.
- 3. プログラム report2-1.c をコンパイルした結果をもとに, auto 変数と static 変数の違い, ポインタと 配列の違いについてレポートせよ.
- 4. printf など、一部の関数は、任意の数の引数を取ることができる。これらの関数を可変引数関数と呼ぶ、MIPS の C コンパイラにおいて可変引数関数の実現方法について考察し、解説せよ。
- 5. printf のサブセットを実装し、SPIM 上でその動作を確認する応用プログラム (自由なデモプログラム) を作成せよ. フルセットにどれだけ近いか、あるいは、よく使う重要な仕様だけをうまく切り出して、実用 的なサブセットを実装しているかについて評価する. ただし、浮動小数は対応しなくてもよい (SPIM 自体 がうまく対応していない). 加えて、この printf を利用した応用プログラムの出来も評価の対象とする.

2 プログラムの説明

使用した MIPS アセンブリ言語のソースコードは、6 章に示す.

2.1 課題 2-1

まず、6.1 節に示す syscalls.s について説明する.

処理でスタックを確保する必要があるため、.text によりテキストセグメントにプログラムを配置する. 続いて.align 2 により次の命令が配置されるメモリ上のアドレスを 4 バイト境界に整列する. 4 行目の_print_intラベルから始まる一連の処理は、C 言語のソースコードから print_int() で呼び出せる処理に相当する. ま

ず subu 命令でスタックを 24 バイト確保し,sw 命令で\$ra レジスタの値を\$sp + 20 のメモリ上のアドレスに退避する.li 命令で\$v0 レジスタに 1 を代入し,システム・コール・コード 1 である print_int を指定する.syscall により,システム・コールを行う.その後,1w 命令で\$ra レジスタの値をスタックから復元し,addu 命令でスタックを開放する,j \$ra により呼び出し元に処理を戻す.

他の print_string, read_int, read_string においては、システム・コール・コードがそれぞれ 4, 5, 8 と なっていること以外は共通の処理を行っているため、ここでは触れない。

2.2 課題 2-5

続いて、6.2 節に示すデモプログラムについて説明する.

3 プログラムの使用法と実行結果

プログラムは、CentOS 7.6.1810 (Core) の xspim で動作を確認している。まず、ターミナルに xspim &と打ち込んで、xspim を実行する。実行後に load の機能を使い、拡張子が.s のアセンブリファイルを読み込む. run の機能で読み込んだプログラムを走らせる. プログラムを走らせた後、もう一度プログラムを走らせる場合には clear でメモリとレジスタの値を初期化した後、再度ロードする必要がある。syscalls.s を用いるプログラムの場合は、最後にこれを読み込ませる.

4 考察

- 4.1 課題 2-2
- 4.2 課題 2-3
- 4.3 課題 2-4
- 5 感想

6 作成したプログラムのソースコード

使用したプログラムを以下に添付する.

6.1 課題 2-1 で用いたコード

```
1
       .text
2
       .align 2
3
   _print_int:
                            24 # スタックの積立
5
       subu
              $sp,
                     $sp,
                     20($sp)
6
              $ra,
                                # $ra レジスタの値をスタックに退避
       SW
7
                                # syscall 用に print_int を指定
8
       li
              $v0,
       syscall
                                # システムコールの実行
9
10
                                # $ra レジスタの値の復元
11
       lw
              $ra,
                     20($sp)
                            24 # スタックを解放
12
       addu
              $sp,
                     $sp,
13
              $ra
                                # 呼び出し元に戻る
       j
14
15
   _print_string:
                            24 # スタックの積立
16
       subu
              $sp,
                     $sp,
                     20($sp)
                                # $ra レジスタの値をスタックに退避
17
              $ra,
18
19
              $v0,
                                # syscall 用に print_string を指定
       li
                                # システムコールの実行
20
       syscall
```

```
21
                    20($sp)
22
      lw
             $ra.
                              # $ra レジスタの値の復元
23
                           24 # スタックを解放
      addu
             $sp,
                    $sp,
                               # 呼び出し元に戻る
24
             $ra
      j
25
26
   _read_int:
                          24 # スタックの積立
27
      subu
             $sp,
                    $sp,
                               # $ra レジスタの値をスタックに退避
28
                    20($sp)
      SW
             $ra,
29
30
      li
             $v0,
                               # syscall 用に read_int を指定
                               # システムコールの実行
31
      syscall
32
33
      lw
                    20($sp)
                               # $ra レジスタの値の復元
              $ra,
                           24 # スタックを解放
34
      addu
             $sp,
                    $sp,
                               # 呼び出し元に戻る
35
             $ra
      j
36
37
   _read_string:
                           24 # スタックの積立
38
      subu
                    $sp,
             $sp,
                               # $ra レジスタの値をスタックに退避
39
      sw
             $ra,
                    20($sp)
40
41
             $v0,
                               # syscall 用に read_string を指定
      lί
                               # システムコールの実行
      syscall
42
43
                    20($sp)
                               # $ra レジスタの値の復元
44
      lw
             $ra,
                    $sp,
                           24 # スタックを解放
45
      addu
             $sp,
46
                               # 呼び出し元に戻る
      i
             $ra
```

6.2 課題 2-5 で用いたコード

xspim で実行する場合は、1行目の#include "spim.h"は不要である.

```
1
        #include "spim.h"
2
3
         void print_char(char c)
4
         {
5
            char s[2]; // バッファ (2文字目は終端文字)
6
            s[0] = c; // 1文字目代入
7
            s[1] = '\0'; // 終端文字代入
8
9
10
            print_string(s); // 文字列表示
        }
11
12
13
         void print_big_str(char *s)
14
15
            int i = 0; // オフセット指定用
16
            char c; // 1 文字バッファ
17
            for (i = 0; *(s + i * sizeof(char)) != '\0'; i++)
18
19
                c = *(s + i * sizeof(char)); // 次の文字情報を c に代入
20
                if (c >= 97 && c <= 122)
                                          // 小文字なら大文字へ
21
                   c = 32;
22
23
                print_char(c); // 1文字表示
24
            }
25
        }
26
27
         void print_small_str(char *s)
28
29
            int i = 0; // オフセット指定用
30
            char c; // 1 文字バッファ
31
32
            for (i = 0; *(s + i * sizeof(char)) != '\0'; i++)
33
                c = *(s + i * sizeof(char)); // 次の文字情報を c に代入
34
35
                if (c >= 65 && c <= 90)
                                         // 大文字なら小文字へ
```

```
36
                     c += 32;
                 print_char(c); // 1文字表示
37
 38
          }
39
40
          char read_char() // 1文字入力関数
41
42
             char buf [1025]; // 入力文字数は最大 1024 文字
43
                            // 最初の1文字を格納
44
             char c;
45
             read_string(buf, 1025); // 入力受付
46
                                   // 最初の1文字を c に代入
47
             c = buf[0]:
48
             return c;
          }
49
50
          void myprintf(char *fmt, ...)
51
52
                          // 引数から受け取った int 値を代入
53
             int i:
             int argc = 0; // 何番目の引数か
char c; // 引数から受け取った ASCII コードを代入
54
55
                          // 引数となる文字列の先頭アドレスを格納
             char *s;
56
57
58
             while (*fmt)
59
             {
                 if (*fmt == '%')
60
61
                 {
                     fmt++; // 検索対象文字列を 1 文字右へ
62
                     argc++; // 引数のカウント数を 1 増やす
63
                     switch (*fmt)
64
65
                     case 'd': // 数値の表示
66
                        i = *((int *)((char *)&fmt + argc * sizeof(void *)));
67
68
                        print_int(i); // 数值表示
69
                        break;
                     case 's': // 文字列の表示
70
71
                        s = *((char **)((char *)&fmt + argc * sizeof(void *)));
72
                        print_string(s); // 文字列表示
                        break;
73
74
                     case 'c': // 1 文字表示
75
                        c = *((char *)((char *)&fmt + argc * sizeof(void *)));
76
                        print_char(c); // 1文字表示
77
                        break;
                     case 'b': // すべて小文字で表示 *s は char *
78
                        s = *((char **)((char *)&fmt + argc * sizeof(void *)));
79
80
                        print_small_str(s);
                        break;
81
                     case 'B': // すべて大文字で表示 *s は char *
82
83
                        s = *((char **)((char *)&fmt + argc * sizeof(void *)));
84
                        print_big_str(s);
85
                        break;
86
                     }
87
                 }
88
                 else
89
90
                     print_char(*fmt); // 1文字表示
91
                 fmt++; // 検索対象文字列を1文字右へ
92
             }
93
          }
94
95
          void myscanf(char *fmt, ...) //引数は1個まで
96
97
             int *i; // 引数となる変数のアドレスを格納
98
             char *c; // 引数となる変数のアドレスを格納
99
100
             char *s; // 引数となる変数のアドレスを格納
101
             while (*fmt)
102
103
             {
```

```
104
                     if (*fmt == '%')
   105
   106
                         fmt++; // 検索対象文字列を 1 文字右へ
   107
                         switch (*fmt)
   108
   109
                                                                           // 数
                         case 'd':
値の入力
                            i = *((int **)((char *)&fmt + sizeof(void *))); // 代
  110
入先情報
                            *i = read_int();
  111
   112
                            break;
                                                                           // 文
                         case 's':
   113
字列の入力
                            s = *((char **)((char *)&fmt + sizeof(void *))); // 代
   114
入先情報
  115
                            read_string(s, 1025);
   116
                            break;
                         case 'c':
                                                                           // 1文
  117
字入力
   118
                            c = *((char **)((char *)&fmt + sizeof(void *))); // 代
入先情報
  119
                            *c = read_char();
   120
                            break;
   121
   122
   123
                     fmt++; // 検索対象文字列を 1 文字右へ
   124
                 }
   125
             }
   126
   127
             int main() // 整数専用の電卓
   128
                                    // 計算結果
   129
                 int out = 0;
   130
                 int in;
                                    // 計算用の入力数値
                 char mode = 'f';
                                    // mode 選択用
   131
                 char flag;
                                    // y or n フラグ用
   132
   133
                 int checkflag = -1; // in の入力の是非 (-1:初回時のみ)
                 char his_operand; // 履歴を1回分保存
   134
   135
                 int his_num = 0;
                                    // 履歴を1回分保存
   136
                 myprintf("Starting %b...\n", "CALCULATOR");
   137
   138
                 while (1)
   139
   140
                     myprintf("Please select the calc mode. (\"+\" or \"-\" or \"*\"
  141
or \"/\" or \"0\" or \"c\" or \"h\" or \"q\")\nMode? : ", out);
                     myscanf("%c", &mode); // mode 選択
   142
                     if (mode == 'q')
                                         // qを選択した場合
   143
                                          // while ループを抜ける
   144
                         break:
   145
                     if (mode == '0') // '0' を選択した場合
   146
   147
                     {
   148
                         myprintf("Do you want to reset calculation result? (y or N)\
n");
                         myscanf("%c", &flag); // フラグ選択
   149
                         if (flag == 'y')
                                            // y を選択した場合
   150
   151
                            {\tt myprintf("Reset\ calculation\ result.\n\n");}
   152
                            out = 0; // 計算結果を 0 にリセット
   153
                         }
   154
   155
                         else
   156
                            myprintf("Operation cancelled.\n\n");
   157
   158
                         continue;
   159
                     }
   160
                     if (mode == 'c') // c を選択した場合
   161
   162
   163
                         myprintf("Result: %d\n\n", out); // 確認用に結果を出力
```

```
164
                                                          // ループ先頭に戻る
                         continue;
  165
                     }
  166
                     if (mode == 'h') // h を選択した場合
   167
  168
                     {
  169
                         if (checkflag == -1)
  170
  171
                             myprintf("Cannot use history func before calculating onc
e.\n\n");
  172
                             continue;
                         }
  173
  174
  175
                         myprintf("Do you want to calc %c%d again? (y or N)\n", his_o
perand, his_num);
                         myscanf("%c", &flag); // フラグ選択
  176
                         if (flag == 'y')
                                             // gを選択した場合
  177
  178
                         {
  179
                            myprintf("Calculated %c%d again.\n", his_operand, his_nu
m);
  180
                            mode = his_operand;
                            in = his_num;
  181
                            checkflag = 1; // in に値を代入したため
  182
  183
                         }
  184
                         else
  185
                         {
  186
                             myprintf("Operation cancelled.\n\n");
  187
                             continue;
                         }
  188
                     }
  189
  190
                     if (mode != '+' && mode != '-' && mode != '*' && mode != '/') //
  191
 モードを正しく選択しなかった場合
  192
  193
                         myprintf("Please select the correct mode.\n\n");
  194
                         continue;
  195
                     }
  196
  197
                     if (checkflag <= 0)
  198
                         myprintf("Please input the number.(int type ONLY)\nNumber? :
  199
 ");
  200
                         myscanf("%d", &in); // 整数の入力値受付
                     }
  201
  202
  203
                     his_operand = mode; // history に入力モードを登録
  204
                     his_num = in;
                                       // history に入力数値を登録
  205
                     if (mode == '+') // 加算モード
  206
  207
                         out = out + in;
                     if (mode == '-') // 減算モード
  208
  209
                         out = out - in;
   210
                     if (mode == '*') // 乗算モード
  211
                         out = out * in;
                     if (mode == '/') // 除算モード
  212
  213
                         if (in != 0) // 0 除算は禁止
  214
                            out = out / in;
  215
                         else
                            myprintf("Cannot divide by zero.\nOperarion denied.\n");
  216
  217
                     myprintf("Result : %d\n\n", out); // 演算後に結果出力
  218
  219
                                                      // in は未入力
                     checkflag = 0;
  220
                 }
                 myprintf("%B: %d", "final result", out); // 最終結果出力
  221
  222
                 myprintf("\nQuit.\n");
  223
                 return 0;
  224
             }
```

参考文献

[1] David A. Patterson, John L. Hennessy, コンピュータの構成と設計 第5版[下] -ハードウエアとソフトウエア-, 日経 BP 社, 2014.